

平成27年8月24日～8月30日までの全国の暑さ指数（WBGT）の観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について  
（お知らせ）（平成27年度第16報）

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について情報提供をしております。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約150地点について、過去1週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症による救急搬送者数との関係について、定期的に情報提供を行っております。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週（8月24日～30日）の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数31℃以上（危険）の時間数（168時間中）

1. 南大東島（沖縄県）	25時間
2. 父島（東京都）	7時間
3. 与那国島（沖縄県）	2時間
4. 清水足摺（高知県）	1時間
4. 久米島（沖縄県）	1時間
4. 沖永良部（鹿児島県）	1時間

<参考>全国9都市の観測地点

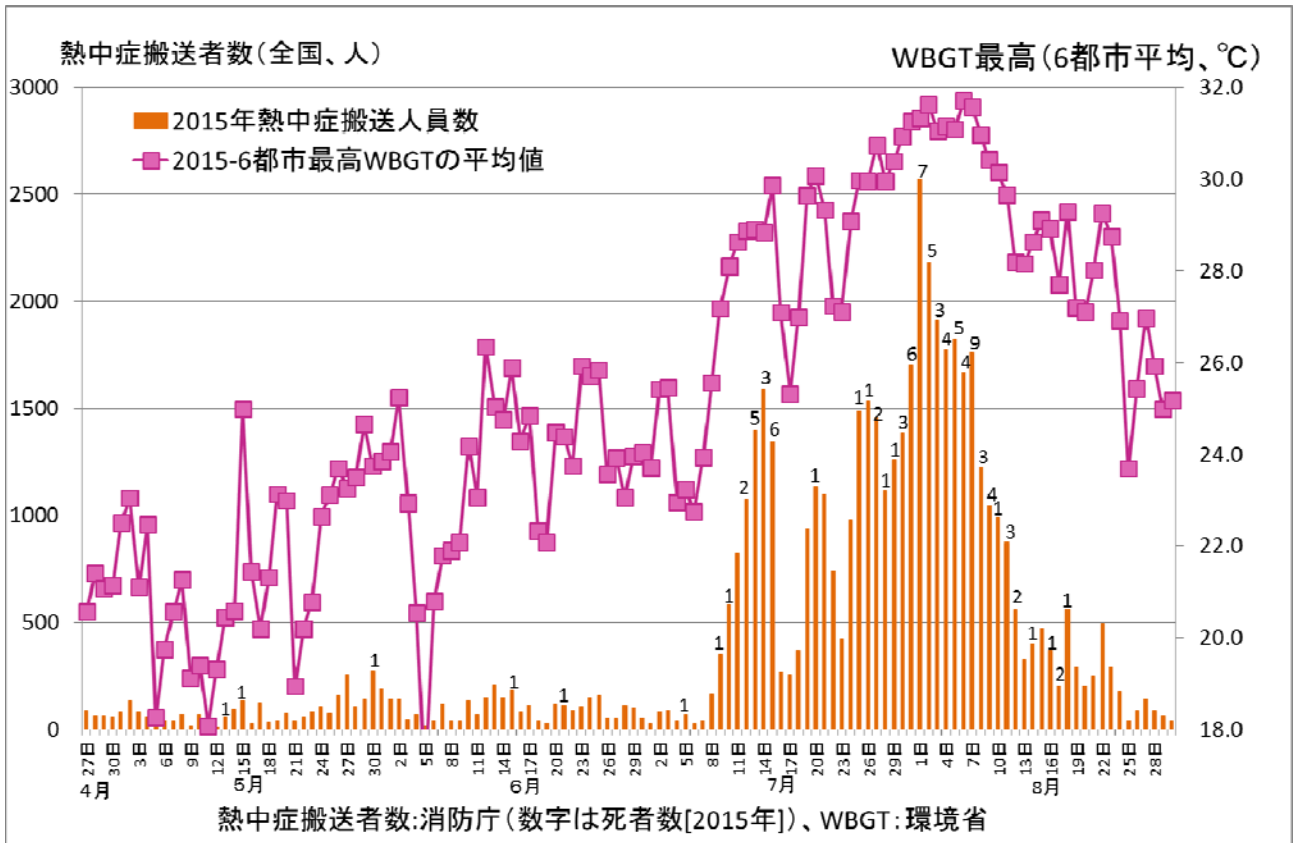
札幌（北海道）	0時間
仙台（宮城県）	0時間
新潟（新潟県）	0時間
東京（東京都）	0時間
名古屋（愛知県）	0時間
大阪（大阪府）	0時間
広島（広島県）	0時間
福岡（福岡県）	0時間
鹿児島（鹿児島県）	0時間

（注1）暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。  
（注2）暑さ指数31℃以上の時間数は、今回の調査では、南大東島（沖縄県）を除いてかなり少なくなっています。

なお、暑さ指数31℃以上とは、（公財）日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

### 3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、8月24日～30日までの期間中は、27°C以下と先週に比べて低くなりました。消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送者数は24日の176名を最高に、週全体では前週の1/4程度となりました。
- 全国的に高温傾向は緩和されましたが、関東以西では、暑さ指数(WBGT)が熱中症の危険度の「厳重警戒」レベルを示す28°Cを超えた時間帯がありました。このため、今後も気温が上昇した際には、引き続き熱中症に厳重な警戒が必要な状態になっています。
- 気象庁発表(9月2日11時時点)の週間天気予報では、「最高気温・最低気温ともに、北日本から西日本にかけては平年より低い日が多く、平年よりかなり低い所もあるでしょう。沖縄・奄美は、平年並の所が多い見込みです。」とされています。
- 気温が低めに経過する地方が多いですが、晴天の日には30°C前後に達する場合もあります。涼しさが続いた後で急に暑くなると、体が対応できずに熱中症になる場合があります。さらに、運動会の練習などで屋外での活動が多くなるので、こまめに水分補給や休息をとることなど、引き続き熱中症に厳重な警戒をしてください。

(注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。

6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡